

平和への誓いを新たに 合志市戦没者追悼式

7月31日、木村葬祭菊南斎場で平成28年度合志市戦没者追悼式を開催しました。

遺族会会員をはじめ約160人の参列のもと、荒木市長が式辞、吉永議長、坂本遺族会会長が追悼の辞を述べました。また、ことしは戦争の記憶を若い世代に受け継ぐことを目的として、児童・生徒からの献花も行なわれました。会場の一人一人が戦没者の冥福を祈り、追悼の誠を捧げ、平和への誓いを新たにしました。



祭壇の前で式辞を述べる市長

野球ができることに感謝 合志市フューチャーズが全国大会出場

7月22日から26日、和歌山県で開催された第21回高野山旗全国学童軟式野球大会に、学童野球チーム合志市フューチャーズが県代表として出場しました。

開会式ではキャプテンの庄野琳乃介さん（辻）が選手宣誓し「熊本地震後も野球ができることに感謝したい」と述べました。試合結果は惜しくも2回戦敗退でしたが、子どもたちは大会を通じて得た技術や仲間との絆を胸に、次の試合に向けて決意を新たにしました。



これからも頑張ります！

犯罪や非行を防止し 立ち直りを支える地域のチカラ

7月15日、市内の各中学校で、保護司会・更生保護女性会の会員などがあいさつ運動と社会を明るくする運動の啓発用品の配布を行ないました。

社会を明るくする運動は、国民が犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築こうとの趣旨で行なわれている全国的な運動で、7月を強調月間としています。

犯罪や非行のない明るい社会づくりのため、市民の皆さんのご理解・ご協力をお願いいたします。



合志中学校での啓発活動に取り組む会員の皆さん

市企業連から子どもたちへ 夏のイベントチケットを贈呈

7月15日、市企業等連絡協議会から熊本天使園と母子寡婦連合会に、子ども向けイベント「ウォーターパーク水かけ祭り」のチケットが贈呈されました。

これは同協議会が行なっている支援活動の一つです。贈呈式では、萩尾一雄協議会会長がチケットを贈呈。天使園の椎山キヌ子事務局長と母子会の宮田美野枝会長は「子どもたちの喜ぶ姿が目に浮かびます」とお礼の言葉を述べました。



左から椎山事務局長、宮田会長、萩尾会長

震災にも夏の暑さにも負けず 合志市子ども会スポーツ大会

7月30日、市総合運動公園と合志南小学校体育館で合志市子ども会スポーツ大会を開催しました。

大会には、ソフトボール6チーム、ビーチボールバレー39チームが出場。総勢333人の子どもたちが真夏の暑さにも負けない熱戦を繰り広げました。各部門の優勝チームは次のとおりです。

なお、ビーチボールバレー女子の部で優勝した花組（第一小子ども会）とソフトボールチャンピオンシップの部で優勝した群イーグルス（群子ども会）は、8月21日に長洲町で行なわれた県大会に市代表として出場しました。

各部門優勝チーム

ビーチボールバレー

- ・女子の部 花組（第一小子ども会）
- ・男女混合 East Kids A（東区子ども会）
- ・フレンドシップ KURODAN（黒石団地子ども会）
- ・ちびっこ スマイル新みず（新開・みずき台子ども会）

ソフトボール

- ・チャンピオンシップ 群イーグルス（群子ども会）
- ・フレンドシップ チーム黒団（黒石団地子ども会）



渡邊技研が初出場 第47回城北地区軟式野球大会

7月24日、阿蘇市で行なわれた第47回城北地区軟式野球選手権大会で、本市代表として出場した渡邊技研が初出場で初優勝に輝きました。

この大会は、阿蘇、山鹿、玉名、菊池地域の各支部で予選を勝ち抜いた代表チームが出場する大会です。7チームがトーナメントで対戦。渡邊技研は3試合中2試合を7点差で勝利し、決勝では阿蘇市のNOKを相手に1点差で優勝を勝ち取りました。



次の大会でも上位入賞を狙います

住みよい地域をつくりたい 測友会が道路の清掃ボランティア

7月16日、菊池地域の測量会社有志でつくる測友会の会員20人が、清掃ボランティアを行ないました。同会は住みよい地域づくりに貢献しようと平成20年から毎年清掃活動に取り組んでいます。

ことしは熊本地震の影響で復旧作業など多忙な業務に追われていましたが、「こんな時だからこそ」と恒例行事をいつも通り実施。市道・井出筋線周辺に生い茂った雑草を刈り、見通しのいい景観にしました。



道路沿いの雑草を刈り取る測友会の皆さん